

2026年度

教育推進機構 副専攻コース履修案内

《科目等履修生用》

(2025年度以前入学者対象)

本コースの2025年度以前入学者については、本コースを修了した場合、登録日本語教員の資格取得に係る経過措置Cルート（案内13ページ参照）の対象となります。

登録日本語教員制度の概要等については、以下の日本語教育機関認定法ポータルサイトをご参照ください。

<https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/top>

岡山大学教育推進機構

目次

1	概要	2
2	カリキュラムについて	2
3	修了要件について	
	2022～2025年度入学者に適用	4
	2020年度入学者に適用	5
4	2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割	6
5	2026年度岡山大学授業日程計画及び授業時間帯	11
6	シラバス閲覧手順	12
7	登録日本語教員の資格取得に係る経過措置について (日本語教育機関認定法ポータルサイトより)	13

1 概要

岡山大学教育推進機構副専攻コース（日本語教育コース）（以下「本コース」という。）は、日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、日本語学習を必要とする人への教育に従事できる人材の育成を目指しています。本コースは日本語教育に関する科目26単位以上を修得する教育課程であり、教育実習が義務付けられています。

本コースの履修者には、日本語教育をめぐるさまざまな事象に対する問題意識を持ち、その解決に向けて知識や情報を論理的に関連付けて自らの考察や分析を深めていく主体的な取り組みが求められます。

2 カリキュラムについて

本コースは、4月から履修開始となり、2年間で標準の修業期間として設定しています。

（2025年4月からコースを開始した場合は、2027年3月でのコース修了が可能です。）

入学年度ごとに指定された修了要件単位を全て修得することで、コースの修了が認められ、修了証書が授与されます。

コースの修了要件に関する詳細は、4ページ目以降の「3 修了要件について」をご確認ください。

入学年度によって修了要件が異なりますので、ご注意ください。

コース修了要件単位を満たす上で履修する必要がある科目は、下記の4種類に分かれます。

必修科目	日本語教育についての専門的な知識の獲得及び技能の養成のための科目です。 指定された全ての単位を修得する必要があります。 特定の科目を履修済みでない履修できない科目がありますので、注意してください。	
選択必修科目	日本語教育についての専門的な知識の獲得及び技能の養成のための科目です。 指定された6科目のうち、合計4単位を修得する必要があります。 （全ての科目を履修する必要はありません。）履修の順番に指定はありません。	
選択科目	日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。 文化庁が指定する「必須の教育内容」の関連科目から12単位、外国語科目から2単位、計14単位を修得する必要があります。履修の順番に指定はありません。	
	文化庁が指定する「必須の教育内容」の関連科目	指定の科目のうち、合計12単位を修得する必要があります。 2026年度の指定科目は、7ページ以降をご確認ください。
	外国語科目	全学共通科目、英語科目及び教養教育科目として開設する全ての外国語科目（英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語）から、合計2単位を修得する必要があります。ただし、自身の母語の科目は、修了要件単位として認められません。 詳細については、学務企画課教育支援グループにお問い合わせください。

☆2025年度入学者 履修モデルの例

(本学は4学期制をとっております。各学期の授業実施時期については、11ページの「5 2026年度岡山大学授業日程計画及び授業時間帯」をご確認ください)

履修年次	開講学期	履修科目と履修学期			
		必修科目	選択必修科目 (以下から計4単位修得)	選択科目	
				文化庁が指定する 「必須の教育内容」の関連科目	外国語科目
1年次 2025年度	第1学期	日本語教授法概論		指定科目から、 2年間を通じて 合計12単位	全学共通科目、 英語科目及び 教養教育科目 として開設する 全ての外国語科目から、 2年間を通じて 合計2単位 (自身の母語の科目を除く)
	第2学期		第二言語習得論 言語と社会		
	第3学期	日本語教材研究1	異文化の中の心理と支援		
	第4学期	日本語教材研究2			
2年次 2026年度	第1学期	日本語学概論1 日本語指導法1			
	第2学期	日本語学概論2 日本語指導法2			
	第3学期	日本語教育実習(第	日本語教育演習		
	第4学期	3学期と第4学期 のいずれかで履修)			

3 コース修了要件について

入学年度によって修了要件が異なりますので、該当する入学年度の表をご参照ください。

各科目の開講曜日時限は、6ページ以降の「4 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割」をご参照ください。

日本語教育コース (2022～2025年度入学者に適用)

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	2025年度開講学期
必修科目	日本語教材研究 1	1	1	1年次	第3学期
	日本語教材研究 2	1	1	1年次	第4学期
	日本語学概論 1 ※1	1	1	2年次	第1学期
	日本語学概論 2 ※1	1	1	2年次	第2学期
	日本語教授法概論	1	1	1年次	第1学期
	日本語指導法 1 ※1	1	1	2年次	第1学期
	日本語指導法 2 ※1	1	1	2年次	第2学期
	日本語教育実習 ※2 ※3	1	1	2年次	第3学期又は第4学期
選択必修科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	1～2年次	(2025年度以降 開講予定なし)
	異文化の中の心理と支援	1			第3学期
	言語と社会	1			第2学期
	第二言語習得論	1			第2学期
	日本語教育演習 ※2 ※3	1			第4学期
	日本語研究と教材作成	1			(2025年度以降 開講予定なし)
選択科目	文化庁が指定する「必須の教育内容」の関連科目から選択		12	1～2年次	全学期
	全学共通科目、英語科目及び教養教育科目として開設する全ての外国語科目から		2	1～2年次	全学期
合計			26		

注)

1. 「日本語教材研究 1, 2」を既に履修した者のみが、表中※1の科目を履修することができます。
2. 「日本語指導法 1, 2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
3. 「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」(表中※3)は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認められません。

☆ 入学前2年以内に本学で修得した科目について、審査の上、日本語教育コースの科目として認定することがあります。

☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが必須です。

☆ 授業の形態については、原則対面授業といたしますが、オンライン方式の授業を行う場合があります。

日本語教育コース (2020年度入学者に適用)

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	2025年度開講学期
必修科目	日本語教材研究 1	1	1	1年次	第3学期
	日本語教材研究 2	1	1	1年次	第4学期
	日本語学概論 1 ※1	1	1	2年次	第1学期
	日本語学概論 2 ※1	1	1	2年次	第2学期
	日本語教授法概論	1	1	1年次	第1学期
	日本語指導法 1 ※1	1	1	2年次	第1学期
	日本語指導法 2 ※1	1	1	2年次	第2学期
	日本語教育演習 1 ※2 ※3	1	1	2年次	第3学期又は第4学期
選択必修 科目	日本語教育とマルチメディア	1	4	1～2年次	(2025年度以降 開講予定なし)
	異文化の中の心理と支援	1			第3学期
	言語と社会	1			第2学期
	第二言語習得論	1			第2学期
	日本語教育演習 2 ※2 ※3	1			第4学期
	日本語研究と教材作成	1			(2025年度以降 開講予定なし)
選択科目	「日本語教育能力検定試験」の関連 科目から選択		1 2	1～2年次	全学期
	全学共通科目、英語科目及び教養教育 科目として開設する全ての外国語 科目から		2	1～2年次	全学期
合 計			2 6		

注)

1. 「日本語教材研究 1, 2」を既に履修した者のみが、表中※1の科目を履修することができます。
2. 「日本語指導法 1, 2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
3. 「日本語教育演習 1」及び「日本語教育演習 2」（表中※3）は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認められません。

☆ 入学前2年以内に本学で修得した科目について、審査の上、日本語教育コースの科目として認定することがあります。

☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが必須です。

☆ 授業の形態については、原則対面授業といたしますが、オンライン方式の授業を行う場合があります。

4 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割

日本語教育コースの対象科目は、下記時間割に掲げている授業科目名・期別・曜日・時限のものに限ります。上記時間割に掲げている科目と同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なる科目を履修した場合は、日本語教育コースの修了要件単位に算入されません。

各科目の詳細は、シラバスをご参照ください。（参照方法は12ページ「6 シラバス閲覧手順」参照）

2026年度のシラバスは、2026年2月上旬頃に掲載予定です。

各時限の具体的な実施時間は、11ページの「5 2026年度岡山大学授業日程計画及び授業時間帯」をご確認ください。

<必修科目>（全て全学共通科目）

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
日本語教授法概論	1	914604	1	月	1・2	
日本語指導法1	1	914601	1	火	5・6	
日本語学概論1	1	914613	1	金	3・4	
日本語指導法2	1	914603	2	火	5・6	
日本語学概論2	1	914614	2	金	3・4	
日本語教材研究1	1	914605	3	水	3・4	
日本語教育実習（2021年度以降入学者対象） 【p.10 注）3参照】	1	914607	3	水	3・4	
日本語教育演習1（2020年度以前入学者対象） 【p.10 注）3参照】	1	（担当にお問い合わせ下さい）	3	水	3・4	
日本語教材研究2	1	914606	4	水	3・4	
日本語教育実習（2021年度以降入学者対象） 【p.10 注）3参照】	1	914608	4	水	3・4	
日本語教育演習1（2020年度以前入学者対象） 【p.10 注）3参照】	1	（担当にお問い合わせ下さい）	4	水	3・4	

<選択必修科目> (全て全学共通科目)

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
第二言語習得論	1	914611	2	月	1・2	
言語と社会	1	914602	2	木	3・4	
異文化の中の心理と支援	1	914612	3	月	5・6	
日本語教育演習 (2021年度以降入学者対象) 【p.10 注) 3参照】	1	914609	4	火	5・6	
日本語教育演習2 (2020年度以前入学者対象) 【p.10 注) 3参照】	1	(担当にお問い合わせ下さい)	4	火	5・6	

<選択科目のうち全学共通科目>

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
アカデミック・ライティング	1	912293	1	月	3・4	
留学生支援ボランティア実習【p.10 注) 3参照】	1	912276	1	水	5・6	
日本語教育学概論	1	914610	1	木	3・4	
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912201	2	火	7・8	受講要件あり (詳細はシラバス参照)
留学生支援ボランティア実習【p.10 注) 3参照】	1	912277	2	水	5・6	
人間生活と心理学	1	912272	夏季集中			
コミュニティエンゲージメント概論	1	912009	3	月	7・8	
ユニバーサルデザイン	1	912102	3	月	7・8	
留学生支援ボランティア実習【p.10 注) 3参照】	1	912278	3	水	5・6	
言語学概論	1	914615	3	木	3・4	
異文化組織で働く	1	912208	3	木	3・4	英語で実施
国際協力とプロジェクト管理	1	912209	4	木	3・4	英語で実施
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912202	4	木	3・4	受講要件あり (詳細はシラバス参照)
留学生支援ボランティア実習【p.10 注) 3参照】	1	912279	4	水	5・6	
近代日本美術の歴史と世界	1	912105	4	木	5・6	
グローバル社会における日本語教育	1	912213	4	木	7・8	日本語・英語併用で実施
人間関係・コミュニケーションの黄金律を学ぶ	1	912287	4	木	7・8	

<選択科目のうち専門教育科目>

専門教育科目の履修を希望する場合は、開講学部 of 科目等履修生として別途お願いいただく必要がありますので、ご注意ください。

同一名の専門教育科目について、重複履修の可否は、開講学部 of 教務担当にお問い合わせください。

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
文学部	人文学概説（言語学）	2	016105	3・4	水	3・4	栗林 裕
	人文学概説（言語学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	片桐 真澄
	人文学講義（言語学Ⅰ）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	栗林 裕
	人文学講義（言語学Ⅱ）	2	016213	1・2	月	5・6	片桐 真澄
	人文学概説（現代日本語学）	2	016106	3・4	水	3・4	未定
	人文学講義（現代日本語学）	2	016218	3・4	月	3・4	中東 靖恵
	人文学講義（現代日本語学）	2	016222	1・2	月	7・8	堤 良一
	人文学講義（日本語教育学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	堤 良一
	実践演習（現代日本語学）	2	016313	1・2	月	3・4	中東 靖恵
	人文学概説（日本語学Ⅰ）	2	017109	3・4	木	7・8	久保 愛
	人文学概説（日本語学Ⅱ）	2	017110	1・2	金	5・6	京 健治
	人文学講義（日本語学）	2	017205	3・4	月	3・4	京 健治
	人文学講義（日本語学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	久保 愛
	人文学概説（文化人類学b）	1	(2026年度 開講なし)	-	-	-	-
ことばと異文化	1	019822	1	火	1・2	シミッチー山 下ミラ	
教育学部	中等英語科内容構成論Ⅰ（リスニング・スピーキング）	2	02B208	3・4	水	1・2	Scott Gardner
	中等英語科内容論（英語学の特論応用）	1	02B030	2	木	1・2	阿部 真理子
	中等英語科内容論（英語学の研究）	1	02B028	4	木	7・8	阿部 真理子
	中等英語科指導法基礎A	2	02B202	3・4	金	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法基礎B	2	02B203	3・4	金	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法ⅠA	2	02B540	1・2	木	5・6	小山 尚史
	中等英語科指導法ⅠB	2	02B541	1・2	木	5・6	小山 尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B450	2	月	3・4	小山 尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B451	1	月	3・4	小山 尚史
	初等英語科指導法Ⅱ	1	02B453	4	月	5・6	小山 尚史
	中等英語科内容構成論Ⅰ（文化の多様性と異文化理解）	2	02B207	3・4	火	1・2	山形 悟史

開講 学部	授業科目	単 位 数	講義 番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
教育学 部	中等英語科内容論（異文化理解の基礎）	1	02B545	+ 木 7-8 夏季集中			山形 悟史 中西 洋平
	中等英語科内容論（異文化理解の応用）	1	02B544	2	木	7・8	山形 悟史
	中等英語科内容構成論 II（多様な文化の受容と発信）	2	02B898	1・2	水	1・2	山形 悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B141	4	水	3・4	山形 悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B142	3	水	3・4	山形 悟史
	中等英語科指導法 II A	2	02B542	3・4	月	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法 II B	2	02B543	3・4	月	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法開発 I A	2	02B892	1・2	木	3・4	小山・竹野
	中等英語科指導法開発 I B	2	02B893	1・2	木	3・4	小山・竹野
	初等国語科指導法基礎	1	02B156	3	水	3・4	浮田 真弓
	初等国語科指導法基礎	1	02B157	4	水	3・4	浮田 真弓
	中等国語科指導法 I A	2	02B592	1・2	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法 I B	2	02B593	1・2	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法 II A	2	02B594	3・4	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法 II B	2	02B595	3・4	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法基礎 A	2	02B244	3・4	金	3・4	池田 匡史
	中等国語科指導法基礎 B	2	02B245	3・4	金	3・4	池田 匡史
	初等国語科指導法 I	1	02B476	2	水	3・4	池田 匡史
	初等国語科指導法 I	1	02B477	1	水	3・4	池田 匡史
	初等国語科指導法 II	1	02B478	4	月	5・6	池田 匡史
	初等国語科指導法 II	1	02B479	4	木	5・6	池田 匡史
	中等国語科内容論（国語学概論 I）	1	02B251	1	月	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学概論 II）	1	02B252	2	月	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学 I）	1	02B603	3	木	7・8	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学 II）	1	02B604	4	木	7・8	又吉 里美
	中等国語科内容論（文章表現）	1	02B612	4	火	3・4	又吉 里美
	中等国語科内容論（音声言語）	1	02B596 (2026年度 開講なし)	4	火	3-4	又吉 里美
	中等国語科内容論（近現代文学演習 I）	1	02B923	3	火	5・6	木村 功
	中等国語科内容論（近現代文学演習 II）	1	02B924	4	火	5・6	木村 功
	中等国語科内容論（漢文学演習 I）	1	02B921	1	月	3・4	土屋 聡
	中等国語科内容論（漢文学演習 II）	1	02B922	2	月	3・4	土屋 聡
	中等国語科内容論（古代文学 I）	+	02B607	+	木	7-8	松田 聡
	中等国語科内容論（古代文学 II）	+	02B608	2	木	7-8	松田 聡
中等国語科内容論（国文学概論 I）	1	02B605	3	火	5・6	松田 聡	
中等国語科内容論（国文学概論 II）	1	02B606	4	火	5・6	松田 聡	
GDP	Sociological Imagination	2	131070	1	月・木	7・8	宮川 陽名

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
G D P	Global Sociology	3	131071	3・4	火	7・8	宮川 陽名
	Korean Diaspora	3	131075	3・4	水	9・10	鄭 幸子
	Topics in Japan and Beyond I	3	132060	1・2	火	7・8	鄭 幸子
	Topics in Japan and Beyond II	3	(2026年度 開講なし)	-	-	-	鄭 幸子

注)

1. 科目によっては、受講要件を定めている場合がありますので、備考欄に記載のない科目についても、予めシラバスを十分にご確認ください。
2. 授業の形態については、原則対面授業といたしますが、オンライン方式の授業を行う場合があります。
3. 同一名の全学共通科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。また、※印以外の科目でも、既に単位を修得した科目は、重複して履修することができません。
ただし、「留学生支援ボランティア実習」は、既に単位を修得していた場合でも、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。
また、「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」（並びに「日本語教育演習1」、「日本語教育演習2」）は最大2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認められません。

5 2026年度岡山大学授業日程計画及び授業時間帯

< 2026年度岡山大学授業日程計画 >

2026(令和8)年度 岡山大学授業日程計画

月	曜日							備 考	月	曜日							備 考
	日	月	火	水	木	金	土			日	月	火	水	木	金	土	
4 月				1	2	3	4	2日 入学式 8日 第1学期授業開始	10 月				1	2	3	1日 第3学期開始	
	5	6	7	8	9	10	11			4	5	6	7	8	9	10	1日 秋季入学者入学式
	12	13	14	15	16	17	18			11	12	13	14	15	16	17	12日 スポーツの日
	19	20	21	22	23	24	25			18	19	20	21	22	23	24	
	26	27	28	29	30			29日 昭和の日		25	26	27	28	29	30	31	10月30日～ 大学祭 11月2日 ※10/30,11/2臨時休講
5 月					1	2	注:7日 火曜日の授業を行う 注:8日 水曜日の授業を行う	11 月	1	2	3	4	5	6	7	3日 文化の日	
	3	4	5	6	7	8	9		3日 憲法記念日	8	9	10	11	12	13	14	注:4日 月曜日の授業を行う
	10	11	12	13	14	15	16		4日 みどりの日	15	16	17	18	19	20	21	注:19日 月曜日の授業を行う
	17	18	19	20	21	22	23		5日 こどもの日	22	23	24	25	26	27	28	23日 勤労感謝の日
	24	25	26	27	28	29	30		6日 振替休日	29	30						
6 月								12 月								4日 第4学期開始	
	1	2	3	4	5	6	10日 第2学期開始		6	7	8	9	10	11	12		
	7	8	9	10	11	12	13			13	14	15	16	17	18	19	
	14	15	16	17	18	19	20		30日 卒業日	20	21	22	23	24	25	26	25日～1月4日 冬季休業
	21	22	23	24	25	26	27			27	28	29	30	31			27日 卒業日
7 月				1	2	3	4	1 月							1	2	1日 元日
	5	6	7	8	9	10	11		注:22日 月曜日の授業を行う	3	4	5	6	7	8	9	11日 成人の日
	12	13	14	15	16	17	18		20日 海の日	10	11	12	13	14	15	16	注:12日 月曜日の授業を行う
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23	注:13日 金曜日の授業を行う
	26	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	15日 共通テスト実施に伴う臨時休講	
8 月								2 月								16,17日 大学入学共通テスト	
	2	3	4	5	6	7	8		7～9日(予定) オープンキャンパス	1	2	3	4	5	6	注:5日 本曜日の授業(試験)を行う	
	9	10	11	12	13	14	15		11日 山の日	7	8	9	10	11	12	13	11日 建国記念の日
	16	17	18	19	20	21	22			14	15	16	17	18	19	20	23日 天皇誕生日
	23	24	25	26	27	28	29			21	22	23	24	25	26	27	25,26日 一般選抜(前期日程)
9 月								3 月									
	6	7	8	9	10	11	12		21日 敬老の日	1	2	3	4	5	6	21日 春分の日	
	13	14	15	16	17	18	19		22日 国民の休日	7	8	9	10	11	12	13	22日 振替休日
	20	21	22	23	24	25	26		23日 秋分の日	14	15	16	17	18	19	20	25日 学位記授与式
	27	28	29	30					25日 学位記授与式	21	22	23	24	25	26	27	
第1学期計	8	8	8	8	8		授業週数(含試験)	第3学期計	8	8	8	8	8		授業週数(含試験)		
第2学期計	8	8	8	8	8			第4学期計	8	8	8	8	8				

第1学期 4月1日～6月9日
第2学期 6月10日～8月10日
第3学期 10月1日～12月3日
第4学期 12月4日～2月14日
試験期間
休業日及び臨時休講を示す。
他の曜日の授業を行う日を示す。
気象警報等により休講とした場合の補講日を示す。
 ※補講については、授業担当教員が指定した日に行う。

< 岡山大学授業時間帯 >

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 第1時限・・・ 8：40～ 9：30 | 第5時限・・・ 13：25～ 14：15 |
| 第2時限・・・ 9：40～ 10：30 | 第6時限・・・ 14：25～ 15：15 |
| 第3時限・・・ 10：45～ 11：35 | 第7時限・・・ 15：30～ 16：20 |
| 第4時限・・・ 11：45～ 12：35 | 第8時限・・・ 16：30～ 17：20 |

6 シラバス閲覧手順

【2026年度版は、2026年2月上旬公開予定】

1. インターネットを立ち上げる
岡山大学公式ホームページ
<https://www.okayama-u.ac.jp/>
「在学生・保護者の方」をクリック



2. 「シラバス」項目内の
「岡山大学開講科目」をクリック



3. 「岡山大学のシラバス」ページ内の
「シラバス検索」をクリック



4. シラバスを検索
「講義番号(前方一致)」に講義番号(6～10ページ参照)を入力したり、「授業科目検索」や「全文検索」に調べたい科目に関する内容(「フランス語」など)を入力するなどして、「検索」をクリック
条件に合致する科目が一覧で表示されます。



7 登録日本語教員の資格取得に係る経過措置について

(日本語教育機関認定法ポータルサイトより)

登録日本語教員の資格取得に係る経過措置について

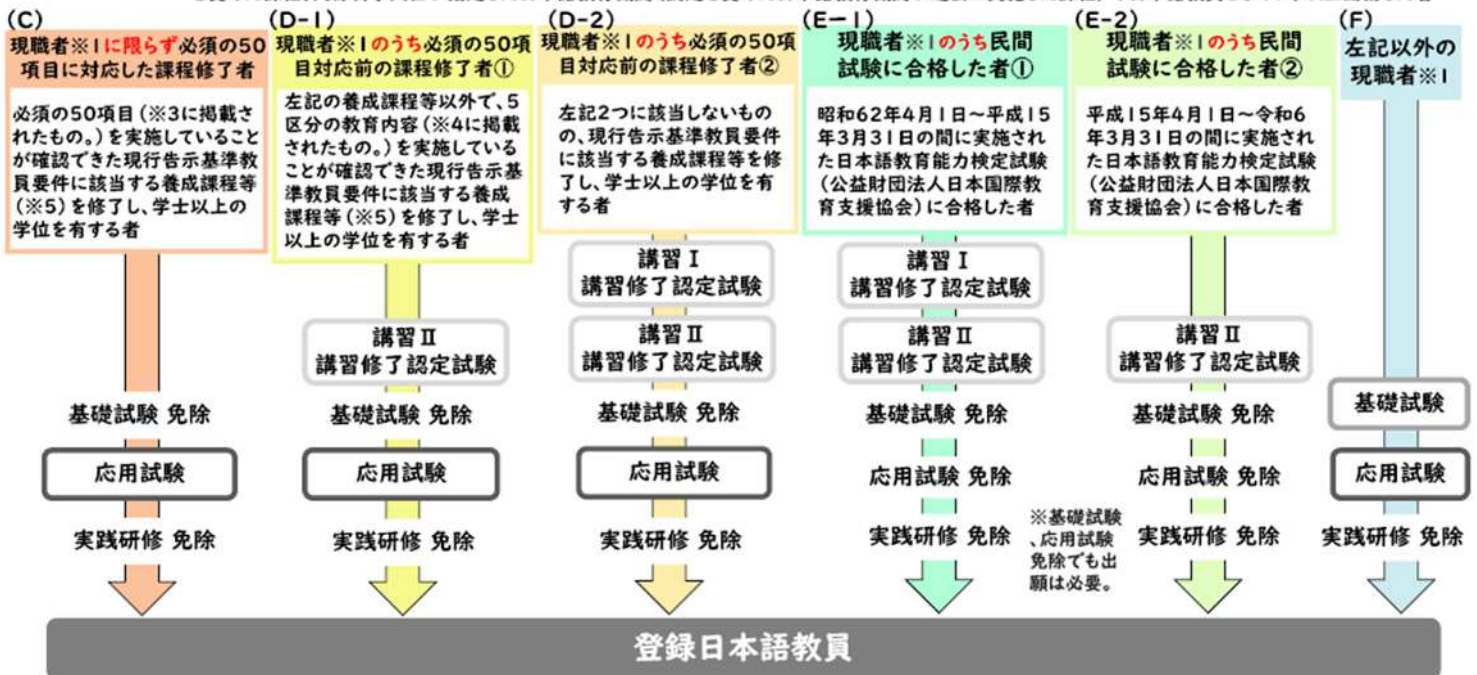
経過措置期間



令和6年4月1日～
令和15年3月31日まで※2

令和6年4月1日～令和11年3月31日まで

※1 平成31年4月1日(法施行5年前)～令和11年3月31日(法施行5年後)の間に法務省告示機関で告示を受けた課程、大学、認定日本語教育機関で認定を受けた課程、文部科学大臣が指定した日本語教育機関(認定を受けた日本語教育機関が過去に実施した課程)で日本語教員として1年以上勤務した者



※2 経過措置期間は原則として法施行後5年(令和11年3月31日)までとするが、現行の養成課程を実施する大学等が登録実践研修機関と登録日本語教員養成機関の登録を受ける前に在籍する学生等への配慮として、大学等の準備が遅れ、5年の経過措置期間が終了した直後の令和11年4月1日より登録機関としての実践研修・養成課程を開始された場合を想定し、それ以前から在籍した学生等が経過措置を受けられるよう、大学の修業年限が4年であることを踏まえ、原則である5年に4年を加え、50項目に対応した課程の修了者への経過措置の期間を令和15年3月31日までとする。

※3 日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改定版(平成31年3月4日)文化審議会国語分科会

※4 日本語教育のための教員養成について(平成12年3月30日)日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議

※5 (C)及び(D-1)の養成課程等については文部科学省が確認を行い、それぞれの養成課程等の一覧を公開。